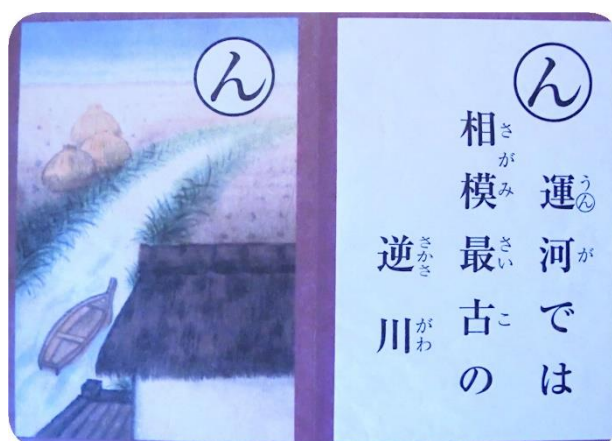


企画ガイド

紫陽花の時期、古代の運河<逆川>の謎を解明します！

『目久尻川沿いの紫陽花と<逆川>を辿る』

主催：NPO 法人 海老名ガイド協会



海老名には歴史に名を残す遺蹟がたくさんあります。

奈良時代には聖武天皇の命により、相模国中央の海老名に国分寺が建てられました。

国分寺の資材や貢物の運搬のため、そして海老名耕地の灌漑用として造られた逆川、皆さんと実際に歩いてその謎を解明します！

紫陽花の時期、皆様がた多数のご参加をお待ちしております。

開催日 : 平成30年6月16日(土) 9時30分 ~ 12時30分頃(小雨決行)

集合場所 : かしわ台児童公園(かしわ台駅から徒歩5分)、9時15~30分

解散場所 : 相模国分寺跡

申込受付 : 当日集合場所にて受け付けます(事前予約不要:受付開始9時)

運営協力金 : 300円(資料代など、中学生以下は無料)

問い合わせ : 海老名ガイド協会・事務局 ☎046-231-4602 (会長:服部澄一郎)

◆コース内容 : 約5キロ(3時間)

- ① かしわ台児童公園<長ヲサ遺跡>(集合) ⇒
- ② 目久尻川沿いの紫陽花 ⇒
- ③ 北部公園(トイレ休憩) ⇒
- ④ 杉本の堰改築記念碑 ⇒
- ⑤ いせしもむら橋 ⇒
- ⑥ 滝の下、目久尻川への<そらし跡> ⇒
- ⑦ 逆川記念碑 ⇒
- ⑧ 相模国分寺跡(解散)